

しんりん

2022年4月号

vol.126

〒949-8311 新潟県中魚沼郡津南町中深見乙2176
発行／津南町森林組合 TEL.025-765-2510



食感や風味を最大限に生かした初の冷蔵商品〈食研ひじき煮〉

新年度に向けて

代表理事組合長 涌井 九八郎

今冬は平成十八年以来の豪雪となり、またまた全国に津南の名を知らしめることとなりましたが、その後は日毎に陽光も強まり、春作業の準備に忙しい時期となりました。

組合員・町民各位におかれましては、平素より組合運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当組合においては一月末日をもって令和三年度事業が終了し、去る三月二十日に第五十五回通常総代会を開催することができました。ただ、今総代会時においてもコロナウイルス蔓延が収まらず、感染防止の観点から書面での議決が多くなりました。

なお令和三年度の事業実績につきましては、総取扱額は前年実績百六%の二十一億五千万、当期利益は百四十九万円と極めて僅かですが、利益として計上することができました。

その中にありまして、二年目となる森林環境譲与税での農地周辺森林整備事業（津南さんさん計画）も三集落で実施することができました。新年度も引き続き要望集落から順次進めていく予定です。

なお、コロナウイルスによる影響は新年度に入っても続いており、いつまで続くか見通せないところもありますが、経営体質を更に強化してまいります。

新年度も引き続き厳しい経営環境となりますが、組合員各位はもとより町民の皆様にも、より一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。



総代会開催

三月二十日(日)に、組合大会議室において第五十五回通常総代会を開催しました。

前年度同様にコロナウイルス感染防止の観点から、書面議決を推奨する形での総代会開催となりました。このような状況下での開催を皆様方にはご理解をいただき、当日ご出席いただいた総代が三十四名、書面での議決をいただいた総代が百二十七名で全議案を承認していただくことができました。今期も組合員の皆様並びに関係機関よりご指導いただく中で、このコロナ禍を乗り越えて行くべく役員一丸となり邁進努力をして参りますので今期も宜しくお願い申し上げます。



新役員の紹介

表彰

津南町森林組合表彰規程により、長年に亘り組合業務運営に寄与された方に感謝状並びに表彰状が贈呈されました。

(敬称略)

表彰の種類	受賞者氏名	理 由
感謝状	磯部 悌治	総代勤続 5期以上
	中澤 繁夫	
	桑原 光國	
	藤ノ木松夫	
	桑原 弘光	
	藤ノ木正明	
	吉野 徹	
	大口 孝法	
	内山 幸和	
	小島 七郎	
	保坂 信司	
	福原 光夫	
職員表彰	福原 実	勤続 20 年
	石沢 太	
	村山 美好	定年特別表彰 勤続 35 年以上 (勤続 41 年)
	保坂 靖寛	
	板場 健	
	板場 清	
	丸山 博	

退任役員

退任役員	任 期	集落名
大口 友一	6 期	米 原
根津 長徳	3 期	陣場下
滝沢 和彦	2 期	赤 沢
石沢 巧	2 期	鹿 渡
桑原 了一	1 期	反里口
湯沢 利夫	1 期	中 子

定年退職者

板場 健
(継続雇用)
板場 清
(継続雇用)
丸山 博

退任役員の皆様には、組合事業運営にご尽力を賜り深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

定年退職者の皆様におかれましても長年の功績に敬意を表したいと思います。ありがとうございました。



森のプロフェッショナル 森林部の仕事

主伐



木材利用するために、
一帯の木を全て伐採。

造材・搬出



伐倒木の
枝払い・玉切り・造材をし市場へ。

地ごしらえ



伐採後、植え付けをするため
散乱した枝葉等を集積。

間伐



健全な森林に導くために、
混み合った木を間引き。

植え付け



一本一本手作業で苗を植え付け。
獣害天災対策も実施。

100年先へ
届ける仕事

枝打ち



節のない上質な木を育てるために、
下枝を切り落とす。

除伐



植栽木の育成を妨げる雑木や
育成状況の悪い木を除去。

下刈り



苗木の育成を妨げないように、
周りの雑草を刈払う。

Newユニホーム! 作業着でも魅せる

数十年ぶりのリニューアル！森林部のユニホームを
新しくしました。若い人が森林組合に興味を持っても
もらえるキッカケになれば嬉しいです。これを着て一緒
に働いてみませんか。



特別な気持ちを込めた、 あなただけの オリジナルギフト はいかがですか？

お好みの商品の詰め合わせをご用途、
ご予算に応じてお作りいたします。



ごはんのお供セットとして、
ビビンバ・野沢菜ごはんの
素・食べるラー油きのこ、そ
して津南産コシヒカリなど
をセットにするのもいかが
ですか？
おにぎりの具としても使え
ます。



詰め合わせの一例の他にも多数の商品がございます。
是非、組合売店へお越しください。お待ちしております。



～ 2022年度 (4/12～7/15) ～ 山菜集荷のお知らせ



毎年山菜集荷にご協力をいただきありがとうございます。
今年も、**ふきのとう・わらび・やまぶき**の集荷を行います。

買取価格	1 K g 当たり、ふきのとう：155 円 わらび：255 円 やまぶき：135 円（税込）にて買い取ります。
お願い	わらび は、家庭で食べられる程度の「こわさ」で、穂先の開いていないもの、長さを 20cm 以内 に揃えてビニール紐で束ねてください。（ 20cm 以上の物は引き取れません。 ） やまぶき は、支給させて頂くネット（赤色）からはみ出さない程度の長さ、1 c m ～ 1.5 c m 程の太さでご提供をお願いします。
受入時間	平日 9 時～ 12 時、13 時～ 16 時 GW 期間 4/29～5/5 は受取り不可となります。（土・日曜日・祝日も受取りできません）
精算方法	1 ヶ月分まとめて、翌月 15 日にお支払い致します（休日の場合は翌日となります）

●きのこ部●

きのこ
販売課

個選なめこの紹介

全国各地の取引先の発注を受けて、なめこ生産者にオーダーします。

個選なめことは生産者の自社工場でパッケージングされる商品で、棚持ちが良く、好評です。



① オーダー取りまとめ

毎週火曜・金曜が個選なめこの発注日となります。

火曜日は全国の生協から受注が来る日で、週末土曜日からの出荷に備えて生産者へ発注します。

② 受け入れ、保管

発注から出荷当日までに生産者から持ち込まれ、製品冷蔵庫に保管します。



③ 梱包

生産者から入荷した個選なめこをバンド掛けし、出荷を待ちます。

なめこは鮮度が勝負！

入荷から出荷までの時間が短い為、大急ぎで作業をします。



④ 出荷

雪深い津南町は常に時間との勝負

出荷して当日の深夜に販売先に到着、または翌日早朝に時間指定されている荷物を届ける為、運送業者を待たせない様にスムーズな積み込みを心がけています。

安心、安全、美味しいなめこを
全国に提供する為、販売課は常に
時間との戦いに挑んでいます！



薬用植物編



<その16> 春の山菜料理

冬眠から醒めた熊は一番に山菜を食べるとも聞かれています。山菜類にはそれぞれ多少の苦みがあり、デトックス効果もあるとも言われています。雪国に生活する私たちにとって現在のように交通便利性が無かった時代、春の山菜は待ちに待った青物でありご馳走でした。今でも山菜採りを趣味とする人は多く、雪国生活のDNAが残っているのかも知れません。

今まで本欄で取り上げてきた山菜類も多くが薬効を有しています。春一番雪の下から出てくる、ふきのとう・コゴミ・せり・ウド・ウルイ・トリアシショウマ・カタクリ・よもぎ・ドクダミ・葉

わさび・ミズ・モミジガサ・シオデ・わらび・ぜんまい・タンポポ・たらの芽・コシアブラ・ウワミズザクラの花穂・マタタビの芽・アケビの芽・ニセアカシアの花穂・マユミ・ネマガリタケ等など毒草さえ採らなければ山菜の宝庫です。

それぞれ美味しく食べる料理法もあり・高級レストランより余程贅沢な食事ができると思ってよいのでは。四季が際立つ雪国こそどこにも負けない食文化を持ち、しかも健康増進ができる山菜に感謝し、料理の仕方も食べること出来ない都市住民に大いに自慢しようではありませんか。



写真:染谷 學(トランヴェール2009年10月号より)

職員募集

(森林木材部・特産部)

私たちと一緒に
働いてみませんか！

工場見学もできますので
お気軽にご連絡くださいね。

総務部 津端まで TEL 025-765-2510



あとかき

春が来ました。

4メートル近くあった雪壁もなくなり、ところどころ土も見えてきました。梅の花も、桜の花もいっきに芽吹き、クロッカスや、スイセンが咲き誇ります。一番うれしい季節です。

ワクワクとした高揚感に包まれ、今年は何々をしようとか、これに挑戦しようとかこの季節に思います。

コロナでなかなか出かけられなくなった昨今今年は津南の再発見で津南巡りでもしてみましようか。

職員紹介

新しい仲間を紹介します。
皆様からのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いします。(R2.4～R04.4)



〈特産部 生産課〉
いとう りょうへい
伊藤 瞭平
(正面)



〈特産部 生産課〉
さいとう とし
斉藤 司
(栄村)



〈特産部 生産課〉
やまだ みかこ
山田美香子
(十日町市田代)



〈特産部 生産課〉
たかはし なおみ
高橋 直美
(大割野)



〈特産部 生産課〉
もとやま みき
本山 美紀
(反里)



〈特産部 生産課〉
くわはら たくと
桑原 岳人
(船山新田)

安全衛生委員会より

毎月、開催されている安全衛生委員会の活動の一環として、津南町森林組合の産業医でもある津南病院の林院長が1月27日に食品第二工場を巡視され、管理状況や騒音対策について確認されました。

